



実践クラブ
生田 忠照
議員

▼選挙期間中に聞いた話題について

Q ①養護老人ホームありあけ荘を継続した理由と、②選定基準を市内の業者に限定しなかった理由は何か。

A ①高齢者福祉のセーフティーネットとして、島原市内における養護老人ホームの必要性や有効性は高いと考えた。②他市の例を調べると応募が少なかったため、市内に限定せず県内としたが、募集の説明会には十四団体が来て、七つの団体から申請があり、予想を超える結果であった。

Q 精霊流し実施協議会での議論のポイントと、現在、市が取り組んでいる事は何なのか。

A 精霊流し実施協議会では、船回しに議論が集中し、船回しの場所の確保は、実施協議会が警察と協議することとなった。また、市では精霊船及び台車作製の補助と、担ぎ手の支援としてボランティアの募集を行っている。

Q 三会地区に出店予定の大型店舗トライアルはいつオープンで、地元業者への影響はどう考えているのか。

A 来年の一月二十一日オープン予定である。中心商店街や北門の商業施設との競争が激化すると考えている。

Q 北門から市役所までの国道沿いの電線地中化の話があるが、どのような概要なのか。

A 県が整備計画を策定しており、事業期間は約五年、総事業費は十億円余りで、市の負担はないとのことである。

▼定住人口増加のために同窓会を活性化させては

Q 島原出身者の同窓会を積極的にやってもうら仕掛けができないか。

A 二十二年度、二十三年度にふるさと里帰り再会事業を行った実績もあり、全国でも同窓会の開催経費を支援している事例もあるが、本市でも島原で多くの同窓会を行っていたための方策を検討したい。

▼庁舎建設について

Q 庁舎は商店街の活用など、機能を分散させるのか、一カ所集中なのか。

A 有明地区、大手地区のそれぞれのあり方を踏まえ、議会とも相談しながら進めて行く必要がある。

【その他の質問項目】

◇元気な高齢者をつくるために、何が必要かを問う



バラの会
楠 晋典
議員

▼選挙投票率の低迷と十八歳からの選挙権

Q 選挙権が十八歳に引き下げられたことにより、学校教育の中で政治に関心を持つような教育も必要だと思うがどうか。また、長与町の小学校で県内初の模擬投票が実施されたが、本市で実施する計画はないのか。

A 学習指導要領により国の政治や選挙の仕組みについて指導している。模擬投票については、今の段階では特に計画はしていない。

▼若者の働く場所をどう確保するか

Q 国の地方創生政策において、企業を地方に移転させることがあるが、IT関連の企業などを誘致できないか。

A IT関連の企業誘致は、ネット環境を整えれば可能なため、ブロードバンドを整備して、都会と田舎の距離的格差を埋めることを指示している。

▼働きながらの子育て支援

Q 若者が安心して仕事し暮らしてい

くには、事業所の理解と協力が必要だが、子育てをしている方の職場への支援制度はないのか。

A 国の補助制度として、妊娠、出産、育児を理由とした離職者を雇用した場合、月額最大四万円支給される雇用奨励金、また母子家庭の母親を雇用した場合は、月額最大六十万円が支給される特定就職困難者雇用開発助成金制度があり、重複受給が可能である。また、税の優遇措置や職場環境づくりアドバイザー派遣制度もあり、本市としてもこれらの周知を図りたい。

Q 病児・病後児保育制度の島原市の現状と今後の予定、また病院等での実施についてはどうなっているのか。

A 本市では、病後児対応型を市内二カ園で、一歳から小学校低学年までを対象に実施している。病院での実施については、人材や財源の確保など多角的な検討が必要である。

▼高潮対策、浸水対策、消防団等の防災対策強化

Q 消防団員の減少やサラリーマンの団員がふえているが、今後の消防団の充実・強化についてはどう考えるか。

A 協力事業所の認定や団員雇用の事業所に入札制度での付与点の付加などを行い、リーフレットやポスター等でも団員の確保に努めている。また、装備・器具等の充実を図ることも重要であると考えている。